

道徳だより

# やまなみハート



## 【授業参観日】全学級で『特別の教科道徳』の授業を実施！

12月6日（木）の授業参観日には、今年もたくさんの方に道徳の授業をご参観いただきありがとうございました。今年から『特別の教科道徳』となり、通知票に評価が入りました。「自分だったらどうするか？」を考え、みんなで話し合い、自己の生き方を考える授業を行っています。太田小学校は「こころは誰にも見えないけれど、こころづかいは見える」という言葉のとおり、行為にあらわすことが価値あることとして、道徳的実践力の「見える化」に取り組んでいます。



二年一組  
『ぼくもがんばるよ』  
【家族愛】



一年一組  
『ハムスターの赤ちゃん』  
【大切な命】



四年一組  
『仲間だから』  
【友情・信頼】



三年一組  
『悪いのはわたしじゃない』  
【公正・公平・社会主義】



六年一組  
『六千人の命のビザ』  
【よりよく生きる喜び】



五年一組  
『だれかをきずつける機械ではない』  
【公正・公平・社会主義】



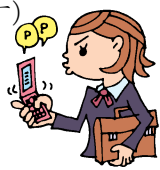
なかよし一・二組  
『あなたにとって大切なものは』  
【人間の尊厳・価値の尊重】



家庭のルールを子供と一緒に決めましょう。

埼玉県ネットアドバイザーによる  
【子供安全見守り講座】

- 1 家庭のルールを子供と一緒に決めましょう。(ルール作りのポイント)
  - ①親子(家庭)で話し合って決める。(子供が納得するルール)
  - ②具体的なルールにする。(あいまいにならないように)
  - ③守れなかったときのルールも考える。(守れなかった時に自分がどう責任を取るのか)
  - ④定期的にルールを見直す。(子供の発達段階に応じて)
  - ⑤困ったり、何かあったらすぐに大人に相談する。(ルールを決めたら保護者は見守ります)
- 2 ペアレンタルコントロール(保護者による見守り)をしましょう。
  - ①携帯電話会社が提供する「フィルタリングサービス」を利用する。
  - ②事業者が提供している「フィルタリングソフト」を使用機器に導入する。
  - ③保護者が使用機器本体の「機能制限を設定する」



## 授業風景(5年)

《正義の実現のために》

【資料名】「だれかをきずつける機械ではない」

【ねらい】誰に対しても差別することや偏見をもつことなく、公正、公平で正義ある姿で接することができるようになる。



相手の顔が見えないとこわいし、いじめに賛成する人がいるかもしれないし、自分の心がボロボロになるからなくしたいです。僕は絶対にやらない。(男子)

ネットでは、送信する前に相手がいやだと思っことではないか、考えてから送信する。(女子)

ネットいじめによる仲間はずれや集団いじめを起こさないようにしたい。理由は心が傷ついてしまうから。ネットいじめをしている人がいたら、注意する。ルールを決めて使いたいです。(女子)

最初は、こんなことを書いた。自分が傷つくか考えた。ネットいじめは絶対にしない。(女子)

みんなが、ネットいじめは悪いことというのを、知ることが大切。わたしは、ルールを決めて使いたい。ネットいじめをしていない人がいたら注意したい。(女子)

ネットいじめをしていない。周りの大人に渡す。先生、書いてその子に渡す。先生、ネットいじめをしないようにしたい。(男子)

ネットいじめによる悲しい苦しい人を作りたくない。悪口が入る言葉を投稿できなくしたり、もっといろいろなところで話し合ったりすると思う。自分が携帯を持ち始めても、気をつけて被害者を作らないし、被害に合いたくない。(男子)

